

●【資料１：事業報告】に関する意見・質問及び回答

質問 NO	該当 箇所	内容	回答	回答課
1	1-①	「まちの先生」は多様な人材がいらっしゃるが、周知と活用が課題ですね。体験フェスタは上記の意味でも重要な機会であると思います。継続と改善（規模を大きくするなど）が必要だと思います。		
2	1-①	「まちの先生」体験フェスタの開催では、発表の場、まちの先生とふれあう体験の場が工夫されていて、まちの先生と来場者双方にとってWinWinであった。ますますの活性化を期待します。	体験フェスタの継続に加え、関係課からの社会教育事業の報告などの情報をもとに、連携や活用が見込まれる部署へ積極的に働きかけ、活用の機会の拡大に取り組みます。	文化振興課
3	1-①	「まちの先生」の「文化体験活動への出展」は大切な第1歩だと思いました。今後の「まちの先生」のより広い場への参加があるといいですね。		
4	1-①	「生涯学習ガイドブック」の「こめふら」への掲載はとても良い取組と思います。ジュニア層への認知を高めるには、やはり保護者への認知とほぼイコールです。どうやって保護者に告知していくか…だと思いました。		
5	1-②	レファレンス相談件数がR6:52件→R7:40件、貸出R6:4284冊→R7:3153冊。返却がR6:6532冊→R7:5981冊と様々な利用が減少傾向です。その要因が何か考えをお聞かせいただければありがたいです。	come100クラブ関連の通知や、小中学生向けイベントでのチラシ配布等を通じて、積極的な広報に取り組んでまいります。	文化振興課
			①レファレンス相談件数は、簡易のものは含めず司書複数で数日間調査を行った案件を上げています。あくまで個人からの相談件数なので、年度によって多少の増減はあるものと考えています。 ②取次所の貸出冊数と返却冊数の減につきましては、人口減による取次所利用者数減と考えています。また、利用者が図書館利用に変更したと思われる取次所もあります。	中央図書館
6	1-③	科学博物館への入館者数がR6:19019人→R7:33665人と激増しています。その要因が何かお考えをお聞かせください。それを継続発展させることが、より活発な市民利用につながると感じました。	子どもたちの夏休み期間中に開催した企画展「長岡カブト・クワガタ学」において、約16,000人が来場したことが激増した要因のひとつと考えています。今後も、多くの人から来館いただけるよう、工夫を凝らした企画展を開催するなど、市民利用につなげていきます。	科学博物館

質問 NO	該当 箇所	内容	回答	回答課
7	2-①	「まちなかキャンパス」⇒年間受講者数R6:3000人→R7:2500人この数値をどう受け止めていらっしゃるのか？さらに、利用者数を伸ばす方策を考える必要はないのか？	R7年度においては、まちなか大学の講座数減により延べ人数が200人程度減となったほか、分校が廃止になりその分が皆減となったことが要因と思われます。 今後、当事業は中高生向けの講座の割合を拡大していく予定であり、従来に比べ受講者数が伸び悩むことが想定され、受講者数維持は課題であると考えています。 分校廃止に代わり、支所地域全体における学びの機会を増やすため、講座動画の配信も検討しているところです。引き続き、受講者の声を聞きつつ中高生向けも含め受講者のニーズに合う講座を検討し、周知方法を再考します。	まちなかキャンパス長岡
8	2-②	「地域学びコーディネーター」は、受講者数R6修了者:23名→R7:初年度受講者数32名と着実に増えています。この取組の良さが口コミで広がっているのではないかと感じます。 修了生の活用については、今後市としても各コミセン等へのアドバイスが必要と感じています。	今後も実践力を重視した楽しい講座を心掛け、受講数の増加に努めてまいります。 修了生の活用については、引き続きコミセン等に働きかけていくとともに、フォローアップ体制も充実してまいります。	中央公民館
9	2-②	「まちなか大学院」受講者R6:3人→R7:11人と発展していると感じます。特に「空き家対策」は関心の高い講座でニーズにマッチしています。研究発表は講座のゴールですが、本来の意味でスタートなのだと思います。ここから受講生がどう羽ばたいていけるか、市としてのアドバイスが必要と感じました。	成果発表にて、その年のテーマに応じた市の担当部署からコメントやアドバイスなどをする場を設けています。まちなかキャンパス長岡としても、可能な限りの情報提供を行っていきます。	まちなかキャンパス長岡
10	3-①	コミセン職員に対しての研修は充実していますが、コミ組織のリーダーである長に対する研修(情報交換の場や長岡市の思いなどを伝える)の機会はあるのでしょうか。	コミ組織については、任意組織であり、その長も地域内で選任されています。コミセン職員は市の職員であることから各種研修を実施していますが、コミ組織の長への研修等の機会はありません。 ただし、コミ組織の長は連合町内会長を兼ねているケースもあり、各地区の市政要望会など別の機会に市との情報交換をしております。	市民協働課
11	3-①	コミセン職員研修はとても効果が上がっていると思います。今後もニーズに応じた講座をお願いします。	今後も地域課題を踏まえ、ニーズに沿った研修が出来るよう努めます。	市民協働課

質問 NO	該当 箇所	内容	回答	回答課
12	3-②	「地域コミュニティ活動の推進」取組例が素晴らしいと思いました。こういった他地域の取組をコミセン職員が共有していると、さらに広がり深まると感じました。(すでにしていらっしゃるかもしれませんが)そのような機会をつくることも、行政の仕事と感じます。	取組例は、全コミセンへ共有しており、良いものは真似てもらえるよう取り組んでおります。引き続き取組例を共有し、地域の実情に合った活動を支援してまいります。	市民協働課
13	4	「放課後の居場所づくり」事業について 民間事業者への業務委託による成果や課題、保護者の反応等について教えていただきたい。	民間委託による成果としては、①安定的な人材確保（児童クラブ間での人員の融通により、他クラブへの応援が可能となったほか、多様な募集方法による欠員補充を実施）、②月1回程度の研修による人材育成、③ICT化の活用による利便性の向上があります。 保護者の反応としては、民間委託前からの支援員の約9割が継続して勤務していることへの安心感や、「安心でんしょばと」というICTサービスの導入により、入退管理や利用予定登録がスマートフォンでできるようになり便利になったという声があります。 課題としては、これまで各コミュニティ組織に委託していたため、各地域独自の運用や特色があります。その独自運用や特色について、市全体で統一すべきものと、地域の特色として残すべきものと整理することが必要となっており、関係者間で調整を図っているところです。	子ども政策課
14	4	「放課後の居場所づくり」の民間委託後の子どもや保護者の反応はどうだったのが気になります。また、「放課後子ども教室」の数の減少は、何故なのか。今、小中学校の放課後の子どもの居場所について、関心が高まっているように感じます。今後、どういった取組が必要か、検討しなければいけないように感じています。	民間委託後の反応は、上記のとおりです。 放課後子ども教室の数について、子ども教室として実施していた事業と同等の内容を、コミセン事業として運営していきたいという地域の意向があり、子ども教室としては1つ減少したものです。 小中学生の放課後の子どもの居場所については、放課後子ども教室をはじめ、児童会館や子ども食堂、ミライエ長岡での取組など、互いに連携しながら多様な居場所づくりに取り組んでいく必要があると認識しています。今後も他自治体の取組も参考にするなど、情報収集に努めてまいります。	子ども政策課

質問 NO	該当 箇所	内容	回答	回答課
15	4	「子ども会等リーダー養成・地域活動推進事業」は、どのイベントも参加者が増えています。受け入れ体制を充実させたのでしょうか？素晴らしい取組と思います。	長岡市子ども会連絡協議会が、長岡市からの補助金とは別に、独立行政法人の補助金の交付決定を得たため、充実したイベント内容になったことが参加者増の要因と考えております。	子ども政策課
16	4	「社会教育振興事業」の単位PTAの実態は現在どうなのでしょう。PTAを解散した学校もあると聞いています。PTAは保護者の大事なつながりの場。一度なくなると、簡単に元に戻せません。「持続可能なPTA」関心が高かったと思います。	他県ではPTAを解散した学校もありますが、長岡市内での事例はなく、すべての小・中学校にPTAがあります。また、長岡市出雲崎町小中学校PTA連合会の取組として、「持続可能なPTAを目指して」をテーマに会長・副会長向け研修会を開催するなど、持続可能なPTAに向けての取組が実施されています。	子ども政策課
17	5-①	「市美展」「市民音楽祭」ともに、来場者が減ってます。たまたまなのか？とも思いますし、来場者数ばかりを気にしてはダメなのかもしれませんが、やはり、どれも市民の税金を使ってのイベントなので、多くの人に還元しなければいけないのだらうと感じます。（音楽祭は伝統芸能に掉さしたもののため、来場者が少なかったのか。）	ご指摘のとおり、各事業の来場者数は減少しています。これは、イベントの内容だけの問題ではなく、人口減少や、娯楽の多様化といった社会全体の変化も大きく影響していると考えています。 市民音楽祭については、毎年ジャンルを変えて開催している中で、今回は邦楽をテーマに開催しました。邦楽は文化的価値が高い一方で、若い世代には馴染みが薄いかもしれませんが、来場者からは伝統芸能の良さを再認識したという声を多数いただいています。地域の文化を継承し、次世代につなぐことも行政として重要な役割であると考えています。 できるだけ多くの方に還元できるような内容とPR方法を検討してまいります。	文化振興課

質問 NO	該当 箇所	内容	回答	回答課
18	5-④	<p>展覧会事業の来館者数はR6:10342人⇒R7:4500人とかなり減っている。普及事業もR6:560人⇒R7:49人とかなり少ない。その要因をどのように分析していただけるのかお聞きしたい。それが、来年度の取組に生かされてくるように思います。</p>	<p>・展覧会事業、普及事業とも年度ごとに事業内容や回数等が異なるため、来館者数も変動します。過去の高い数値を目標にしたいと思いますが、毎年度一定の実績値を保つことは難しい状況です。【参考 R5展覧会事業観覧者数:6,899人、普及事業参加者数:1,697人】</p> <p>・展覧会事業については、R7が減ったというよりもR6が多かったと言えます。その理由は3つの企画展（「日本刀の美展」「星野道夫展」「松岡達英展」）が人気・関心の高いジャンル・テーマであったことが集客につながったと考えます。R7の「金澤翔子展」「宇宙写真展」も全国の他会場で多くの観覧者を集めた実績を踏まえて当館での開催に至りましたが想定より少ない結果となりました。その原因は、当館の立地環境や交通の不便さ、猛暑（熱中症アラートの発動）等があげられると思います。</p> <p>・普及事業については、R7はR6に比べ集客の多い「とちびまつり」を実施しなかったことで大きな減少となっています。</p>	中央図書館
19	6-②	<p>スポーツのバリエーションの豊富さを改めて知ることができて良い。スポーツをまとめたプラットフォームが充実すると良いのでは？</p>	<p>市民への周知の仕方や認知度向上の取組みについて検討していきます。</p>	スポーツ振興課
20	6-④	<p>長岡市のコミュニティスポーツ活動の現状と課題についてお聞かせください。</p>	<p>現状としては、コミュニティ推進組織を中心に地域のニーズに沿った主体的なスポーツイベントが展開されています。また、愛好者のサークル・クラブ活動やスポーツ・運動教室など様々な活動が行われています。</p> <p>課題は、運動していない人に対するアプローチの工夫です。コミセン祭りにユニバーサルスポーツのブースを設置するなどして、気晴らしや爽快感、家族との触れ合いなどを感じてもらい、スポーツの良さに気付いてもらうきっかけづくりが必要だと考えています。</p>	スポーツ振興課

質問 NO	該当 箇所	内容	回答	回答課
21	【全体】	長岡市民の興味・関心を綿密に拾い上げ、向学心・向上心を喚起し、充実した人生の享受に大きく貢献している様子が感じられました。	—	—
22	【全体】	本年度の参加者や来場者数が記載されていますが、「実績・効果」を判断するには前年度との比較が必要だと思いますので、来年度以降の報告には可能な範囲で前年度との比較増減も付記していただきたいと思っています。	昨年度の実績を入力した報告書を再度配布いたします。	—
23	全体	<p><u>より効果的な社会教育事業の推進のため、次期行財政プランの始動後における「自担当課において懸念される事柄と(もしあれば)その対策案」を教えてください</u></p> <p>【委員意見原文ママ】各担当課様が各事業について、市民のみなさまに寄り添いつつ推進されていることが、全報告から観て取れました。社会教育委員として深く感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>さて、来年度長岡市は市政120周年という節目の年で、さまざまなイベント等が予定されていることと存じます。</p> <p>一方で、長岡市の次期行財政プラン(5ヶ年)を見ると、財政見通しの厳しさから、事業見直し・公共施設の適正管理・受益者負担の見直し、DX/生産性向上等々が始動する年度でもあります。〔※長岡市公式ホームページ内『持続可能な行財政運営について』(R7/7/25・R7/10/3議員協議会資料) 参照〕</p> <p>資料を読むにつけ、社会教育関連の事柄についても その機能・運営について、サービスの縮小や利用制限や市民のなんらかの負担・不利益が増すのではないかと(一市民として)懸念を抱いております。</p> <p>今後も市民のみなさまへの学ぶ機会提供のため、今まで以上にご尽力されることと存じますが、より効果的な社会教育事業の推進のため、次期行財政プランの始動後における「自担当課において懸念される事柄と(もしあればその対策案)」について、教えていただければと思います。(今後の社会教育委員会の活動に影響する可能性が無いとは言えないので、忌憚のないご意見をいただければ幸いです)</p>	<p>各課からは、人口減少や財源制約を踏まえ、事業や施設の目的・効果、対象者を明確にし、利用状況に応じた見直しを行いながら、持続可能な行政運営を図る必要があるとの意見が示されました。併せて、デジタル活用や運営方法の工夫により、限られた財源を効果的に活用していく方向性が共有されています。</p> <p>※各課の詳細【資料3-1のとおり】</p>	全課

●【資料2：基本方針（案）】に関する意見・質問及び回答

NO	該当箇所	内容	回答	回答課
1	1-③ 5-②	第5項②に「文化財の保護・活用…」とあるのに、第1項③では「博物館の資料活用と…」で「保護」の文言が無いのはどのような理由からなのでしょうか？	重点施策1は、学習活動の支援の観点から、文化財を保護するのではなく、博物館の資料活用と情報発信に努めていきたいことから、基本方針とすることに理解いただきたいと思います。	科学博物館
2	2	<p>【提案】：『2多様なまなびの提供と人材育成』内の文言に、「まなびのアップデート」という文言を入れてはいかがでしょうか。</p> <p>【文例】：①多様化する市民のまなびのニーズやステージに応じ、高等教育機関や企業などと協働して市民がまなびのアップデートを出来るような、既存の生涯学習や社会教育の枠にとらわれない各種講座の充実</p> <p>【理由】今年度 長岡市社会教育委員会で実施した“QRコード入りリーフレットの配布”や“インスタ配信活動”は、いずれも長岡市のイベント等の情報についての「市民のみなさまへの周知」の推進でした。</p> <p>これからの時代、「学ぶこと」は学校教育を終えた以降も人々にとって必要なこととなっており、技術や社会の仕組みの変化は、学ぶ内容とともに学び方もアップデートすることを求めています。（「新潟県 社会教育の在り方 審議まとめ」から引用）</p> <p>そういった意味で、「私たち社会教育委員発信の周知」は、「市民のみなさまの“まなびのアップデート”への願い」に他ならないと思うため、上記文言の挿入を提案いたします。</p> <p>※（参照URL↓）新潟県社会教育委員の審議まとめ（概要）参照 https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/422302.pdf</p>	既に①の中で、「多様化する市民のまなびのニーズやステージに応じ」というところで、学び方のアップデートの観点も内包されているという認識で取り組んでおります。まちなかキャンパス長岡では、より多くの年代の方、家から出られない等さまざまな事情を抱える方が受講できるよう、学びの方法の多様化のひとつとして、講座の動画配信も検討しております。引き続き、多様なニーズに合わせた学びの方法を検討、実施してまいります。	まちなかキャンパス長岡
3	4	「家庭や地域の青少年育成機能の強化と、青少年が自ら主体的に行動できる力の育成」の担当課は、子ども政策課だけなのだろうか？と疑問に思いました。人材育成にもつながる「主体的な行動力」は「まちなかキャンパス」にも通じるし、その延長線上の「ミライエ」とのつながりはどうなるのか気になります。	<p>まちなかキャンパス長岡では、令和7年度までは一般市民向けがメインで、夏休みに小学生を対象とした講座を行ってまいりましたが、今後は小学生、中高生向けの講座を拡大する予定です。青少年の人材育成という観点では、令和8年度以降は当課も担当課となり得ると考えるため、追加で掲載をさせていただきたいと考えます。</p> <p>まちなかキャンパス長岡は、ミライエ長岡・東館のオープンに合わせミライエに機能移転を予定しています。ミライエにおける人材育成についても、引き続き検討してまいります。</p>	まちなかキャンパス長岡

NO	該当箇所	内容	回答	回答課
4	5-①	文化振興課だけではなく市民協働課も入るのではないかと思います。	市民協働で行う文化活動への支援ということで、文化振興課が担当しております。	文化振興課
			コミュニティ活動には、文化活動も含まれていますが、その他にスポーツ、福祉、青少年健全育成など幅広い活動があります。3-②に掲載している補助金により、様々な活動を包括的に支援しているため、独立掲載ではなく、3-②に包含されているという認識です。	市民協働課
5	5-①	6-①で、「…中学校部活動の地域移行を契機とした…」環境の整備は、スポーツだけでなく音楽等も必要ではないでしょうか？ 実際には文化振興財団や市民の団体が行っていますが、そういったことは、長岡市社会教育の指針として表さなくていいものでしょうか？	文化については、既存のサークルや教室等に受け皿になっていただけるよう、ジュニア層の芸術文化活動の環境整備を行っています。その旨、基本方針に表記しました。	文化振興課
6	6-①	「中学校部活動の地域移行を契機としたジュニアスポーツ活動環境の整備」とありますが、「部活動の地域移行」という言葉が全国レベルで「地域展開」に変更されたとの情報をどこかで聞きました。確認していただき、必要ならば「地域展開」に変更した方がいいと思います。	ご指摘のとおり「地域展開」という表現を用いるようになっていたため、修正します。	スポーツ振興課
7	【全体】	社会教育の推進に関わっている担当課や社会教育施設等の間で情報共有や横の連携を図るための取組、配慮事項等があったら教えていただきたい。	本会議での事業報告等を通じて情報を収集するとともに、各課へ講座情報を照会したり、イベントでのタイアップを行うなど、日常的な情報交換を促進しながら連携を図っています。	中央公民館

NO	該当箇所	内容	回答	回答課
8	【全体】	<p>「まなび」を「学び」漢字表記にしない、背景やそこにある思いや願いが知りたいです。(我々委員が理由づければ良いと思うのですが、先人の思いや願いがあってそうしたのだと思うのです。委員としてこれまで放置してきましたすみません。)</p> <p>「活かす」と「生かす」が使われているのですが、そこも意味づけをしなければならぬのかなと思います。</p>	<p>「学び(漢字)」は、知識の獲得や技能の向上、いわゆる勉強といった意味合いが強い一方で、「まなび(ひらがな)」は、心理的なハードルを下げ、住民の主体的な関与を促す印象につながりやすいと考えます。そのため、各事業の目的や内容を踏まえながら、より適切な表記を選択する意識を持って、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>また、他自治体の事例を見ても、社会教育の意義として掲げられる「地域づくり」「つながりづくり」「人づくり」においては、住民の主体的な参加が重視されていることから、「まなび」という表記が用いられる傾向が見受けられています。</p> <p>なお、「活かす」と「生かす」の使い分けについては、人材の活用を推進し、地域におけるまなびの循環を図るという考え方から、「活かす」を用いることが適切であると考えます。</p>	中央公民館
9	【全体】	<p>第1回社会教育委員会で、「大きな社会教育」(市全域を対象とする専門性の高い学び)と「小さな社会教育」(特定地域の住民を対象とする地域密着型の学び)を区別して考える必要があると発言した。</p> <p>いずれも重要な学習機会であり、「学びを生かし成果を還元する」という考え方は社会教育の本質として重要である。</p> <p>しかし、現行の基本方針では「大きな社会教育」の視点が十分反映されていないように思われ、この両者を意識した記述にすることが望ましいと感じている。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。「大きな社会教育」と「小さな社会教育」は相互に繋がり合い循環していくものであり、市全体の社会教育を考えるうえで大切な視点であると思います。この視点を意識し、今後も基本方針を検討して参りたいと思います。</p>	中央公民館